

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	丸山羽場土地区画整理事業(第二地区)	会計	一般会計	事業No.	532	施策順No.	45-017	
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-4-2-12-2			
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	建設管理課			
施策	45 居住基盤の向上			事業期間	開始	1	終了	23

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	・地区内居住者及び権利者 ・事業計画区域						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		地区内世帯数	360	370	380	390	410		
		計画面積(ha)	28.1	28.1	28.1	28.1	28.1		
意図		・地区内居住者の生活の利便性を向上と防災機能を高める。 ・換地計画により換地相互間の不均衡を是正するため金銭で清算する。							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		道路整備率・宅地整備面積率 (全体道路延長:8,978.6m、全体整備面積:207,535.97㎡)	100	100					A
		清算金徴収率(累計 分割納付あり)(%)			99.3	99.9	99.9	100	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		清算金徴収については分割納入者から納入され目標を達成することができた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>平成元年から土地区画整理事業に着手し道路等の公共施設と住宅地を一体的に整備を進め、平成17年度に区画整理事業は概成となる。まちづくり交付金事業対象外の工事については、市の単独費で実施する。平成21年3月19日に換地処分公告がなされ、処分内容が確定し、3月20日から新しい住所、地番となる。平成21年度より換地計画により換地相互間の不均衡を是正するため金銭で清算を行う清算金の徴収・交付を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画面積28.1ha ・移転家屋数247戸 ・施工期間平成元～20年度。(平成21年3月19日 換地処分公告) ・清算金交付・徴収業務 平成21～26年度。(徴収については最大5年間の分割納付が可能) 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 清算金徴収業務(徴収金額により最大5年間(11回)の分割納付が可能) 2 補修工事 3 羽場公園(エントランス整備、案内板・遊具使用注意版設置) 4 羽場大瀬木線歩道部植栽工事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 徴収人数 2 工事箇所数 3 設置箇所数 4 施工延長 	<ol style="list-style-type: none"> 1 6人 2 3カ所 3 6カ所 4 L=200m
23年度実施計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 清算金徴収業務(分割納付分 平成23年6月完了見込み) 2 市有地維持管理業務 3 都市再生整備計画 丸山羽場第二地区 事後評価フォローアップ意識調査 	<ol style="list-style-type: none"> 1 徴収人数 2 管理面積 3 対象人数 	<ol style="list-style-type: none"> 1 1人 2 A=2763㎡ 3 360人

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金	4,200	4,189		
		起債				(国)地域活性化・きめ細かな臨時交付金(10/10) 21→22繰越明許費 4,200千円
		その他				
		一般財源	1,852	1,845	450	
		計(A)	6,052	6,034	450	
		正規職員所要時間				
		臨時職員等所要時間				
		人件費計(B)		0		
		トータルコスト A+B		6,034		

4 事業に対する市民や議会の意見

・地区住民は事業全体の早期完成を願っている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、事業者の生活・事業に必要な基盤が整う。	施策の成果指標又はムトス指標	居住基盤の満足度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	区画整理事業の面整備に引き続き、公園・緑地・緑道を整備し、地区内居住者の憩いの場を創出し地域コミュニティの継承や活性化に寄与すると同時に生活の利便性や防災機能の向上が図られた。		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	並行実施したまちづくり交付金事業と業務調整において実施した。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	清算金の徴収交付については、地権者への個別説明会を実施し理解をいただき予定より早く完了の見込みとなる。		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	地区内権利者に対して、20.95%の土地の減歩により負担を課している。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 羽場地区の公園、緑地及び街路の維持管理について、羽場地域協議会で審議していただき、地元自治会で愛護会を組織し管理していただくこととなる。 維持管理については、行政で行う部分と愛護会で行う部分の管理区分を確定し、市と愛護会が連携して行うこととなる。 		
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	地権者のご理解とご協力により換地処分が完了するとともに、清算金徴収交付業務も平成23年6月をもって完了の見通しがついた。		
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------